

2023 年度
賛助会員趣意書



一般社団法人

日本睡眠学会

Japanese Society of Sleep Research

御挨拶

謹啓

時下、貴社におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人日本睡眠学会は、1977年に睡眠研究会として発足して以来、国際的な第一線の睡眠研究が活発に行われ、その成果を世界に向けて発信して参りました。2000年頃からは、睡眠呼吸障害のもたらす社会への弊害がクローズアップされるようになり、さまざまな診療科の医師、歯科医師、検査技師なども参画し、本邦における睡眠医療の充実に関わって参りました。このような時代背景のもと学会は成長を遂げ、現在は約4000名の会員が所属する会となりました。

人生100年時代を迎えておりますが、現在、睡眠不足や睡眠障害のもたらす脳や心、そして身体への影響が次々と明らかになっており、良質で十分な睡眠による健康増進の必要性を社会に、そして国民に働きかけるよう活動を行って参っております。昨今の国民の睡眠への関心の高まりは、大変喜ばしいものではございますが、長年の医学研究の成果に基づいた正しい知識の普及が望まれ、社会に対して学術団体としての役割を引き続き担っていく所存でございます。

さらに、昨年11月には、超党派の「国民の質の高い睡眠のための取り組みを促進する議員連盟（略称；睡眠議連）」（会長；前厚生労働大臣の田村憲久氏、幹事長：衆議院古川元久氏、事務局長：参議院古川俊治氏）の発足に立ち会いました。国家レベルでの睡眠の重要性の理解や啓発を目指して国民が質の高い充実した睡眠を享受できるよう、アカデミア・産業界と近密に連携し、科学的な知見や実証を重視した、実効性のある睡眠に関する施策を打ち出していく方針が示され、当学会としても全面的に協力していきます。また学会のビジョン（睡眠科の標榜、厚生労働省内の睡眠覚醒障害担当部署設置、医学教育コアカリキュラムでの睡眠教育充実、文部科学省科学研究費助成事業に「睡眠」の細目追加、乳幼児から高齢者の睡眠健診導入など）の実現に向けて働きかけていきます。

このように、当学会はこれまで以上に活発に活動しております。科学的根拠をもって国民の睡眠衛生を向上させ、睡眠覚醒障害の予防・早期発見・早期治療を行うべく、学術研究の実施、教育現場や社会生活・家庭生活への普及啓発、睡眠医療の充実を目指し、産業界の皆様との連携も図って参りたく存じます。

昨今の世情厳しき折、誠に恐縮ではございますが、本会の趣意をお汲みとりいただき、睡眠医学・医療の更なる発展のために賛助会員としてご支援賜りたく、何卒よろしく願い申し上げます。

末筆ながら貴社の一層のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

令和5年8月吉日

一般社団法人 日本睡眠学会

理事長 内村 直尚



賛助会員申込要領

1. 入会申込方法

入会申込書を学会事務局までご送付下さい。

2. 賛助会員会費 *口数任意

年会費 1口 100,000円 (入会金はありません)

3. 入会申込書送付先

102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町K Sビル
(株)コンベンションリンクージ内
日本睡眠学会事務局
TEL: 03-3263-8697 FAX: 03-3263-8693
e-mail: jssr@secretariat.ne.jp

4. 年会費納入方法

事務局よりご請求書を別途ご送付申し上げますので、お振り込み下さい。

5. 特典

- ①機関誌のオンライン閲覧
- ②学術大会への無償参加 (1口につき2名まで)
- ③ウェブサイト上の会員専用ページの閲覧

6. その他

学会活動については学会ホームページ (<https://jssr.jp/>) をご参照下さい。